

自分自身を成長させる二学期に～学習の中期目標に～

◎【3年生】進路に関するカウントダウン〔～10月〕

2020/9/12	マーク模試(駿台・ベネッセ)まで……	後 18日
2020/10/17	記述模試(駿台・ベネッセ)まで……	後 54日
2020/10/24	全統記述模試(河合)まで……	後 60日
2021/1/16, 17	みんなの共通テストまで……	後 144日
2021/2/25	みんなの国公立前期入試まで……	後 184日

◎【1, 2年生】進路に関するカウントダウン〔～10月〕

2020/10/10	駿台全国模試(駿台)まで……	後 46日
2021/10/24	進研模試(ベネッセ)まで……	後 60日

◎二学期定期考査

10/7～9 中間考査 11/26～12/1 期末考査

模擬試験を最大限活かす みんなが目指すは受験学力の育成

8/22の全統模試、お疲れ様でした。7月の進研模試の結果がもうすぐ返ってきます。みんなが最終的に目指すは大学受験。校外模試は、現在のあなたの立ち位置を全国レベルで教えてくれます。現在の苦手な分野を教えてくれます。「大学受験はこういうものなんだ」というレベルや量を教えてくれています。

1年生は中学校までの学習範囲から覚えるべき量やスピードが大きく違うことに気付いてきたところだと思います。そこに気付いたら、「大学受験はこういうものなんだ」とこれからの学習に対する姿勢に還元してください。二学期から学習面で「真の前女生」になっていきましょう。

2年生は範囲が1年既習範囲から2年のところまで入ってきて試験範囲が広がっていき、レベルも上がってきたことに気付いてきたところだと思います。さらに、10月の模試から理系では専門の理科が入ってくるなど、教科数も増えます。これは「全国で勝負する大学受験。全国ではこれがスタンダードですよ」と模試を作る大手予備校が教えてくれているのです。そこに気付いたら、「大学受験はこういうものなんだ」とこれからの学習に対する姿勢に還元してください。範囲が広がってレベルが上がっているのに、1年生の時の意識のままでは相対的に成績は下がります(全国のライバルに置いていかれます)。1年生の時の志望校からランクを下げる人の場合、多くはその人の力が限界に達したからではなく、2年生での努力不足、中だるみが原因です。そこに気付いたら、「大学受験はこういうものなんだ」、「まだまだやるべきことはたくさんある」と受け止めて、自分の、前女生の底力を信じて、学習に対するギアを一つ上げて将来の自分、受験に対するベクト



ルを“太く”してください。

3年生は国公立2次試験まであと6か月ある。模試が「穴」を教えてくれている。そこを慌てず潰(再入力)していく。「できなかった、ヤバい」のは今でなく、その結果が「本番」の時。「できなかった、本番でなくて良かった。次に、本番まででできるようにする」、その時間は十分にある。「模試の結果が返ってきてD判定だった、ヤバい」のは今ではなく、その結果が「本番」の時。その点が本番なら落ちているから、それは当然ヤバい。「模試の結果が返ってきた、合格ライン(ボーダー)まで何点足りないんだ[距離を測る]」。この科目で〇点、あの科目で△点、残りの6か月で上げていこう、その時間は十分にある。あきらめるのは「自分」だ。最後まで頑張ろうとするのも「自分」だ。

「模試は、あなたの現在の立ち位置を教えてくれる最高の先生」



二学期、学校に来る時間が多いということは、学校を、先生を、授業を大いに活用できるということだ。全国どの高校も条件は同じ。学校を使っていかに効率よく受験学力をつけられるかどうか、だ。模試を受け終えた後、模試の結果が返ってきた後、担任や教科、進路の先生にアドバイスを受けて、模試を最大限活かして、自分の真の学力に変えていこう。

「二学期のこの時期の体験談～過ごし方、勉強方法など～」

夏休みが終わり、二学期も1週間が経ちました。「実りの秋」「勝負の秋」と言われるように、ここから目の色を変えて受験生が動き出すそんな時期。その反面、不安も出てきて心配になってしまう生徒も出てきます。そこで、前女の先輩に、この時期どういう思いで受験勉強をしていたか、不安があったならどう乗り越えたのか、どのような内容の勉強をしていたか、学力をどう伸ばしたかなどの体験談やアドバイス、メッセージをもらいました。先輩が、前女の後輩の合格を願い、熱くあったかいメッセージを送ってくれましたので、特に“夢を追いかける”3年生に贈ります。こうやって乗り越えるんだという参考にしてくれたらと思います。

①(東京大学 文科I類2年)

3年生のみなさん、受験勉強お疲れ様です!

順調に勉強は進んでいるでしょうか。いや、おそらく順調でない人の方が多いでしょう。私もそうでした。私はこの時期、夏休みにやろうと計画していたことの三分の一近くがまだ終わっておらず、模試の手応えもイマイチで、このままこの勉強を続けて大丈夫なのかとモヤモヤした気持ちでいました。夏が勝負!とよく言われますが、その夏も伸びている感覚もないまま終わってしまい焦っている人も多いかと思います。

でも、気持ちが弱くなりがちだからこそ、この時期にしっかり自分の気持ちと計画を見直すことが大事だと思います。私は、夏休みの勉強の進み具合を踏まえて科目ごとに大きな

計画を立て直しました。大きな計画とは、例えば、9月、10月中にこの教材を終わらせ、11月からは別の教材に必ず移れるようにしよう、と言った感じです。計画を立てる時には先生方に教材について伺ったり、自分の弱点を相談したりしてかなり手伝っていただいた記憶があります。ただし、私はこの時期はまだ受験本番を想定した勉強(過去問やそのレベルの問題)ではなく、どちらかと言うと夏休みに潰しきれなかった苦手の克服をやっていました。焦らず自分に必要な勉強をしっかりと見定めてください。

私は欲張って国、数、英、社の4つの教科を同じくらいの重みでやっていました。それでも、平日に全ての教科をやるのは不可能だったので、平日は直前期に入るまでは3教科中心だったと思います。だいたい、平日は家で数学2時間、国語(古典か現代文どっちか)1.5時間、英語2時間という感じでした。社会は、行き帰りの電車の中や余った時間でやっていました。だいたい合計1時間くらいだと思います。ただ、正直全然時間が足りませんでした。それで少しパニックになっていた時期もありましたが、各教科それぞれで計画を立て、重要度の高いものからやるようにしていました。休日は理科以外の全ての教科に触れていたと思います。時間がかかって平日にはできないものをじっくりやっていました。理科だけはセンター直前以外ほぼ触れていなかったです。授業の中でのなるべく覚えるようにしていました。やるべきことを並べてはこなせないことに焦りがちだったので、目の前にあるやるべきことに集中しよう、という意識をもつようにして勉強をしていました。

それから、私はいつも、「第一志望に落ちたら自分はどれだけつらいだろう」と想像して、「絶対に落ちたくない」と思うことでモチベーションを保っていました。頑張り続けて合格した瞬間はめっちゃめっちゃ気持ちスッキリして本当に嬉しいものです。だから、ぜひこの時期に気持ちを入れ直して頑張りましょう！

せっかく受験勉強をするのならば、全力を尽くして最後に気持ちのいい思いをした方が絶対いいです。これから先もおそらくうまく成績が出ないことが多いと思いますが、最後には自分は伸びると信じて頑張ってください。陰ながら応援しています！

②(早稲田大学 文化構想学部2年)

この時期は夏休みも終わり、私は本当に自分の学力が夏休み期間についてのか不安でしょうがなかったです。まわりは自分以上に夏に頑張ったかもしれない。もしかしたら自分は他人よりも一歩どころか数百歩遅れを取っているのかもしれない、なんて思うこともありました。二学期になってまわりの目の色は変わり、目つきはさらに陰しくなっています。みんな自分のことだけに精一杯になってしまうこともあるでしょう。だけど本当に立ち止まってる暇などないのです。頭で悩むよりも先に「行動を起こすべき」だと思います。

行動には様々な種類がありますね。例えば進路室に行って自分の志望校を検討する。例えば担任の先生に相談に乗ってもらう。例えば各教科の先生に添削をお願いする。もっと小さいことでもいいんです。単語帳見たり、昔のノートを開いてみたり、模試の答えをじっくり読み込んでみたり。この行動が自分への安心感〜ああ自分はちゃんと受験のための準備をしているんだ、というような〜ひいては志望校合格につながるのではないのでしょうか。

“わたわた”しててもなにも変わらない。なら、まずは自分の手の届くところからちょっとずつ。この心がけが大切です。私の場合、今の時期に志望校の赤本はまだ手をつけていませんでした。センターの対策もまだだったと思います。とりあえず復習です。なによりも過去の復習。模試直しや過去にやったワークブックの見直し、ちょっとした問題集をやるのも良いかもしれません。ほら、赤本をやるということよりもちょっと手が届きやすくなったと思いませんか？それでいいんです。背伸びしすぎてもなんのメリットもありませんから。

私は国公立志望だったため、やることがたくさんありましたが、なんとかこなしていたとは思っています。1ヶ月くらいの予定をアバウトに組み立てて実行していました。

まずやるべき教科に優先順位をつけましょう。文系の場合、最後の最後まで付き合うことになる国語・英語、人によりますが数学が当てはまりますね。次は社会系。最後にセンターのみ使用の理科系。あとは苦手分野によって順位は変動します。自分にベストな順位をつけてあとはその日になにをやるかですね。これは私の場合、就寝時間までに自分に残された勉強時間を逆算して、この時間内ならコレとコレができそうだな、あとコレもやれたらやろう、というふうに決めていました。例えば、「あと就寝時間まで残されたのは3時間。この時間があれば国語の長文と英語の長文できるかも。あ、あと寝る直前に世界史のプリントを見れるかな、こんな感じです。アバウトでしょ？だけど予定たてることに時間を使いすぎたら意味がないからね。これはあくまで一例なので参考までにどうぞ。

また、英単語や古文単語はその日何の勉強をするかにかかわらず毎日やりました。これは絶対に隙間時間を活用すべきです。電車内、休み時間などなど。家では座って集中しなければいけないものしかやりませんでした。単語のような立ってでも寝てでもできることは隙間時間にオススメです。



問題集ですが、不安になってもあれこれ手を出さないほうが良いです。数学において、何回も何十回もやることで自然と問題の解き方の傾向のようなものが感覚的に掴めるようになります。だから、同じ参考書なり問題集なりを繰り返すことで力が伸びます。これは私自身の経験でもあるので本当にオススメです。

この時期、本当につらかった。今受験生がつらく思ってるのもよくわかる。だけど、もうここまで来たら進むしかないでしょ？腹くくって前を見据えて、これから自分が大きなことを成し遂げる存在になることを思い描く。こうすると、あ、自分かっこいいなって思いませんか？気持ち一つで世界はガラリと変わりますよ。

最後になりましたが、みなさん受験生を元前女生として心から応援させていただきます。

(先輩からのアドバイス 次号に続きます)